

第23回 部落解放青年ゼミナール

《 青年ゼミ オンライン 》

茨冠の主を讃美します。

いつも部落解放青年ゼミナールを覚え、支え、お祈りくださり、心から感謝いたします。毎年、多くの支えと祈りによって青年ゼミナールの開催が許され、多くの学びと、豊かな交わりの時が与えられています。昨年度は新型コロナウイルスの影響により、開催を断念いたしました。しかし、このような状況下であっても差別的な出来事が起こっている様子を様々な場所で見聞きします。今年の青年ゼミでは複数の学習会を通して「今なお続く差別意識」を学びつつ、これから自分たちが部落差別とどのように向き合うかについて分かち合う場にしたいと思っています。2021年度の開催についても様々な議論を重ねておりますが、今回は安全性を考慮しオンラインにて開催することといたしました。

オンラインでの集会はなかなか難しいことかもしれません。今までにない形の青年ゼミとなります。そのため、創意工夫の上、多くの方に安心して参加して頂けるよう準備しております。長時間のオンライン集会は厳しいと判断し、日にちを分けた連続学習会を行い、講師の方からそれぞれの場で起きている差別について「共に学ぶ」時間を設けました。そして最終日に、全体会にて青年ゼミとして大切にしている「参加者との分かち合い」をしっかり持ち、些細な疑問やそれぞれの想いを共有していくことで、新しい発見や学び、課題をそれぞれの場に持ち帰っていく。そのようにオンラインならではの「学び」と「分かち合い」を大切にする青年ゼミナールにしたいと考えています。少しでも興味があって、部落差別問題について考えてみようと思った方は、ぜひこの青年ゼミナールに参加してください。それぞれの視点から共に学び、考え、分かち合っていくしましょう。そして私たちから、差別を乗り越える歩みを体現していきたいのです。差別されている人が解放され、差別している人が解放されるために。

第23回 部落解放青年ゼミナール
実行委員長 三浦 遙

日程

連続学習会：2021年8月12日、13日、16日、20日 19時頃～

全体会：2021年8月24日（火）

形式：Zoom ミーティング（参加費無料）

申し込みは6月～7月末までに、右記の専用ページより
お申し込みください。下記のアドレスからもご案内いたします。

メール：blc.youthseminar@gmail.com



↑QRコード

学習会講師：「釜ヶ崎と差別」大谷隆夫さん（摂津富田教会牧師・関西労働者伝道委員会 専任）
※題名は（仮） 「在日コリアン差別」金迅野さん（立教大学大学院キリスト教学研究科特任准教授）
「ネットと差別」松村元樹さん（公益財団法人反差別・人権研究所みえ 常務理事）
「性差別について」渡邊さゆりさん（マイノリティ宣教センター 共同主事）

※この青年ゼミナールは学習会と全体会の全参加を前提としておりますので、お時間の許す限り各学習会と全体会を通してご参加ください。

主催 日本キリスト教団部落解放センター（部落解放青年ゼミナール実行委員会）

- 目的
- ①部落差別問題を通して自分の生き方を考える
 - ②部落差別問題の解決のために、自分に何が出来るかを考える
 - ③聖書を学びながら部落解放を目指していく
 - ④新しい「出会い」をする